

# 根釧の経済概況（令和7年6月末基準）：根室管内

水産：根室管内の水揚げは数量・金額ともに前年比増加。

①根室管内総水揚高（各年1～6月）

根室市			根室管内3町		根室管内合計			
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R7	13,779	6,487	33,743	15,168	47,522	+2.7%	21,655	+58.0%
R6	15,262	5,466	30,992	8,235	46,254	▲12.4%	13,701	▲4.9%
R5	16,466	4,993	36,361	9,423	52,827	+4.1%	14,416	+7.6%
R4	15,445	4,627	35,300	8,759	50,745	▲15.7%	13,386	▲1.7%
R3	16,875	4,679	43,379	8,947	60,254	+17.1%	13,626	+29.0%

②貝殻島周辺サオマエコンブ漁

▷期間：6月1日～6月30日  
▷沖出：11回（昨年4回）▷上場量：210t（前年比7.5倍）  
▷7月15日値決め結果～一等品価格27,000円（前年比+3.8%）  
7年連続で上昇、過去最高金額。昨年の記録的な不漁により、在庫が不足しており需要が高まったとみられる。

③イワシ漁

・6月10日に操業解禁されたマイワシ棒受け網漁船は、前年同期で大幅な減産で推移している。減産の要因としては、マイワシが好む水温域が北海道より南方にあり、道東沖への北上が遅れたことが考えられる。魚体も近年は小型化が続いており、50-60gが主体となっている。今後の見通しは海水温次第であるとの見方が強い。

④ホタテ漁（野付・標津 各年1～6月）

	数量(t)	前年同期比	金額(百万円)	単価(円/kg)
R7	16,672	+24.1%	11,253	674
R6	13,425	▲12.8%	4,781	356
R5	15,397	▲17.4%	5,812	377

・ホタテ漁は、数量が16,672tで前年同期比24.1%の増加、単価が前年から2倍近く上昇し、全体金額は11,253百万円で前年同期比2.3倍となり、大幅に増加した。  
・要因としては、青森の高水温と餌不足により漁獲量が減少し、ホタテの市場価格が上昇したためと考えられる。

酪農：根室、釧路管内ともに4～6月生乳生産量は、前年実績を上回る。

根釧管内生乳生産量（各年4～6月）

年度別	数量(t)	前年比
R7	355,595	+2.8%
R6	345,631	+0.4%
R5	344,113	▲4.3%
R4	359,647	+0.9%

  

地区別	数量(t)	前年比
全道	1,034,047	+2.6%
十勝	339,262	+4.3%
北網	155,121	+2.5%
根室	217,628	+2.1%
釧路	137,967	+4.0%

生乳生産量（4～6月）※生乳生産量はホクレン調べ

根釧管内の生乳生産は、355千tで前年同期比2.8%の増加。生産抑制に取り組んだ一昨年から上昇がみられ、生産抑制以前（R4）に近い水準まで戻している。  
地区別にもと、十勝、北網、根室、釧路地区で増加した。十勝と釧路においては4%を超える伸び率で、十勝は北海道内で最大の生乳生産地域であり、道内の生乳生産量増加を力強く牽引している。

今後の需給動向等

生乳生産量については、上記のように上昇基調であるが、牛乳需要については2022年度比、8.7%減少している。そのため、飲用牛乳の消費低迷に伴い道内の乳製品工場はフル稼働で生乳処理を行っている。R7年8月から飲用向け乳価4円引き上げが決定しており、今後の需給バランスについては一層の注視が必要である。

令和7年度から主要な酪農関係の補助事業の交付を受ける際に、全国的な生乳需給安定のための取組への拠出をしていること等を要件とする『クロスコンプライアンス』の段階的導入が始まった。この仕組みの導入により、生産者と乳業者が需給調整コストを広く浅く分担できるため、需給調整システムの持続性が高まること期待される。

全道の受託酪農家戸数は6月末時点で、前年同期比189戸減少の4,184戸となっており、毎年200戸近くの受託酪農家戸数減少が続いている現状は変わらない。原因としては、需給悪化に伴う一昨年の生産抑制、生産コストの高止まり、自主流通（系統外）への出荷変更などが挙げられる。

R7年根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

1月	+1.5%	2月	▲1.7%	3月	+0.7%
4月	+1.5%	5月	+1.6%	6月	+3.2%

家畜取引：根室市場は取引頭数が前年同期比2.6%増加。金額は同比21.2%増加。

□根室市場取引高（各年4～6月）

	取扱頭数(頭)	前年比	金額(百万円)	前年比	単価(千円)
R7	10,821	+2.6%	3,001	+21.2%	277
R6	10,546	▲9.4%	2,476	+4.2%	234
R5	11,646	+3.7%	2,375	▲6.0%	203

□別海市場取引高（各年4～6月）

	取扱頭数(頭)	金額(百万円)
R7	1,364	263
R6	1,423	208
前年比	▲4.1%	+26.4%

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
初生ホルスタイン牝 (単位：千円)	42.2	57.8	83.6	86.7	127.9	113.1
肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円)	170.7	184.0	204.6	203.8	215.6	251.9

貿易：輸出は前年同期比19.5%減少、輸入が同比10.8%増加。

(R7年1月～6月貿易実績・根室税関支所発表・( )内前年同期比)

【総額】59億円（+10.6%） 外国貿易船の入港隻数211隻（前年同数）

【輸出】29百万円（▲19.5%）

冷凍魚介類：17百万円（前年実績なし） 魚網：3百万円（前年実績なし） 輸送用機器：0.3百万円（△67.1%）

【輸入】58億70百万円（+10.8%）

生鮮魚介類：56億62百万円（+6.9%） 冷凍魚介類：208百万円（前年実績なし）

# 根釧の経済概況（令和7年6月末基準）：釧路管内

水産：釧路管内の水揚げは数量・金額ともに前年比減少。

## ①釧路港総水揚げ（各年1～6月）

	全体			
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R7	18,824	▲38.4%	2,272	▲11.5%
R6	30,571	+3.4%	2,570	+13.8%
R5	29,565	+30.7%	2,258	+17.4%
R4	22,615	▲10.2%	1,922	+8.1%
R3	25,206	▲2.2%	1,776	+0.1%

	(うち、スケツ)				
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)
R7	6,436	▲5.1%	439	+8.0%	68
R6	6,786	+17.9%	406	▲5.1%	60
R5	5,752	▲60.9%	428	▲43.7%	75
R4	14,722	▲7.3%	762	▲0.8%	52
R3	15,892	▲11.8%	768	▲12.6%	48

## ②釧路港魚種別水揚げ(R7年1～6月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
スケツ	6,436	▲5.1%	439	+8.0%
マダラ	5,005	+12.8%	1,227	+40.9%
イカ	19	▲29.6%	5	+13.9%
カレイ	357	+14.0%	48	▲14.5%
さけ・ます	12	▲65.7%	12	▲58.4%
赤物	50	+51.5%	72	+26.9%
イワシ	5,999	▲66.9%	195	▲78.0%

## ③厚岸港水揚げ（各年1～6月）

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R7	2,892	+10.0%	1,859	+7.3%
R6	2,627	+6.5%	1,733	+11.4%

## ④厚岸港魚種別水揚げ(R7年1～6月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
カキ	300	▲6.2%	459	+5.8%
アサリ	989	+28.6%	730	+32.1%
ツブ	581	+13.2%	339	+22.9%

### 【釧路港水揚げ】

- ・R7年1～6月の水揚げは数量が18千t、前年同期比38.4%の減少。金額は22億円で前年同期比11.5%の減少となり、令和に入り増加傾向に推移していたが、数量と金額は大幅に減少した。
- ・マダラの数量は前年同期比12.8%の増加、他地域で不漁により引き合いが強く、金額は同比40.9%の大幅な増加となった。赤物の数量も同比51.5%の大幅な増加で好調だった。しかし、主力であるイワシの数量が前年同期比で66.9%の大幅減少、金額も同比78.0%の減少となり、全体の数量・金額を押し下げた。
- ・イワシは6月中旬に漁を解禁、海水温が低く魚群の来遊が遅れたとみられている。
- ・上記以外にホッケも全道的に資源量が少なく、釧路港でも減少幅は拡大している。

### 【厚岸港水揚げ】

- ・R7年1～6月の水揚げは、数量が2,892t、前年同期比10.0%の増加。金額は18億59百万円となり、前年同期比7.3%の増加となった。
- ・カキの数量は前年同期比6.2%の減少、金額は5.8%の増加。
- ・アサリの数量は資源量の安定から前年同期比28.6%の増加、金額は同比32.1%の増加。主要な産地である愛知県が高海水温の影響から不漁であり、引き合いが強まっていることが要因となり金額も増加。
- ・ツブの数量は前年同期比13.2%の増加、金額は同比22.9%と増加。
- ・春サケは水揚げ実績なし。

製紙：◎市内製紙工場のR7年4～6月の生産量は、前年同期比2.5%の増加。

観光：R6年度、釧路市内の観光客入込総数は455万人。（前年同期比8.9%増加）

- ・R6年度の観光客入込総数は455万人、前年同期比8.9%増加で、宿泊客延数は約131万人となった。訪日外国人の宿泊客延数は約14万人となっている。
- ・観光入込客数の主な増加要因としては、クルーズ船や大型旅客船の寄港回数の増加や、道東道の延伸による交通網の利便性向上、航空需要の増加に伴う利用者数の増加が挙げられる。
- ・宿泊客数の増加要因は、夏の冷涼な気候への需要増加やスポーツ合宿の増加、インバウンド需要回復によるものと考えられる。
- ・訪日外国人観光客の増加要因は、誘致強化に伴う台湾などの東アジア地域からの観光客や、欧米豪からの観光客が増加したため。

貿易：◎輸出は前年同期比2.0%の増加、輸入は0.8%の減少

R7年1～6月貿易実績・釧路税関支所発表・( )内前年同期比

- 【総額】 650億78百万円（▲0.6%） 釧路港外国貿易船入港数151隻（前年同期比▲8.4%）
- 【輸出】 56億36百万円（+2.0%） 魚介類・同調製品、紙類・同製品は前年同期比増加。鉄鋼くず、動物性油脂は同比減少。  
魚介類・同調製品：9億95百万円（+40.2%） 鉄鋼くず：18億93百万円（▲1.4%） 動物性油脂：9億8百万円（▲49.3%）  
紙類・同製品：9億32百万円（+31.0%）
- 【輸入】 594億42百万円（▲0.8%） 肉類・同調製品、米、一般機械が前年同期比増加。  
魚介類・同調製品、植物性原材料、石油製品、肥料は前年同期比減少。  
肉類・同調製品：8億81百万円（+57.7%） 魚介類・同調製品：29億44百万円（▲8.1%） 米：18億61百万円（+56.5%）  
植物性原材料：9億18百万円（▲15.8%） 石油製品：5億57百万円（▲50.3%） 肥料：74億95百万円（▲23.8%）  
一般機械：5億65百万円（2.2倍）

# 全国・全道の経済概況（令和7年6月末基準）

## 住宅着工戸数

### 全国

■ R7年4～6月は、全体着工戸数は前年同期比25.5%の減少。2025年4月から、新築住宅に対して省エネ基準の適合が義務化された反動かと思われる。

月別		着工戸数(戸)	前年同期比
R7年 6月		55,956	▲15.5%
R7年 5月		43,237	▲34.4%
R7年 4月		56,188	▲26.6%
R7年 3月		89,802	+39.6%
R7年 2月		60,583	+2.3%
R7年 1月		56,134	▲4.6%
R7年4～6月計		155,381	▲25.5%
内訳			
	持家	▲23.4%	貸家 ▲24.3%
	給与	+29.9%	分譲 ▲30.9%

■ R7年4～6月は前年同期比1.2%増加の4兆9,768億円となる。月別では、2月を除き前年同期比増加。

月別		工事請負契約額(百万円)	前年同期比
R7年 6月		2,229,973	+1.6%
R7年 5月		1,250,774	+2.0%
R7年 4月		1,496,081	+0.0%
R7年 3月		3,924,379	+2.1%
R7年 2月		1,557,899	▲5.5%
R7年 1月		1,060,463	+13.7%
各年(4～6月)			
	R7	4,976,828	+1.2%
	R6	4,914,182	+8.2%

## 公共工事請負高

### 全道

■ R7年4～6月の住宅着工戸数は、前年同期比47.1%の減少。原因として、省エネ基準の適合義務化の反動、建設コスト高騰による住宅価格の上昇等が考えられる。

月別		着工戸数(戸)	前年同期比
R7年 6月		1,613	▲40.6%
R7年 5月		1,128	▲56.6%
R7年 4月		1,884	▲45.2%
R7年 3月		3,963	+74.4%
R7年 2月		1,399	+3.8%
R7年 1月		1,007	+16.8%
R7年4～6月計		4,625	▲47.1%
内訳			
	持家	▲38.7%	貸家 ▲61.9%
	給与	3.7倍	分譲 ▲11.5%

■ 公共工事の前払保証請負高は、R7年度4～6月で7,052億32百万円となっており、前年同期比5.8%の増加となる。3年連続で伸長している。

年別		前払保証請負額(百万円)	前年同期比
各年(4～6月)	R7	705,232	+5.8%
	R6	666,325	+9.8%
	R5	606,653	+21.0%
	R4	501,238	▲6.9%
発注機関別 R7年4～6月			
		前払保証請負額(百万円)	前年同期比
国		124,823	+0.2%
独立行政法人等		228,045	+16.2%
道		99,932	+4.7%
道内市町村		212,373	+6.5%
地方公社		7,951	3.8倍

## 企業倒産動向

■ R7年度上半期の倒産件数は5,003件。前年同期比2.3%の増加。負債額は前年比0.4%の減少。

年別推移		(金額単位：億円)		
(各年1～6月)	件数(件)	前年同期比	負債額	前年同期比
R7	5,003	+2.3%	6,776	▲0.4%
R6	4,887	+21.9%	6,810	▲24.8%
R5	4,006	+31.5%	9,065	▲48.5%
R4	3,045	▲1.2%	17,630	2.8倍
R3	3,083	▲21.8%	6,280	▲0.5%

■ R7年度上半期の倒産件数は前年同期比5.3%の減少。負債額は同比14.1%の減少。

年別推移		(金額単位：億円)		
(各年1～6月)	件数(件)	前年同期比	負債額	前年同期比
R7	125	▲5.3%	16,616	▲14.1%
R6	132	+11.8%	19,356	▲9.9%
R5	118	+14.5%	21,493	+3.4%
R4	103	+32.0%	20,776	2.3倍
R3	78	▲27.7%	8,916	▲42.8%

## 観光客入込動向

■ R6年度の延旅行者数は前年同期比6.6%の増加となり、コロナ禍以降、年々増加の一途を辿っている。全国的にオーバーツーリズムが指摘され、持続可能な観光地づくりが求められている。

延旅行者数(千人)		前年同期比
R7年1～3月	76,613	+4.5%
R6年10～12月	84,976	+5.9%
R6年7～9月	99,622	+6.9%
R6年4～6月	96,393	+8.6%
年度別		前年同期比
R6	357,604	+6.6%
R5	335,332	+7.9%
R4	310,702	+78.2%

■ R6年度の延旅行者数は前年同期比20.4%の増加となった。1～3月の日帰り旅行者数が減少しているが（2023年1,182千人→2025年、945千人）、それ以上に宿泊旅行者数が増えており、前年同期比を上回っている。

延旅行者数(千人)		前年同期比
R7年1～3月	2,871	+16.6%
R6年10～12月	3,201	+20.4%
R6年7～9月	6,094	+8.9%
R6年4～6月	5,537	+38.8%
年度別		前年同期比
R6	17,703	+20.4%
R5	14,697	▲14.8%
R4	17,256	2.3倍

# 根釧の経済概況（令和7年6月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

観光客入込動向

## 根室

■R7年4~6月は着工数2戸、前年から8戸の減少。  
建設コスト高騰による住宅価格の上昇が要因と考えられる。

□根室市住宅着工戸数

	月別		
	戸数(戸)	前年同期比(戸)	前年同期比
R7年4~6月計	2	▲8	▲80.0%
R7年 6月	0	▲4	全減
R7年 5月	1	▲2	▲66.6%
R7年 4月	1	▲2	▲66.6%
R7年 3月	6	+3	2.0倍
R7年 2月	3	+3	全増

各年(4~6月)	月別・利用別					前年比
	持家	貸家	給与	分譲	合計	
R7	2	0	0	0	2	▲80.0%
R6	10	0	0	0	10	▲61.5%
R5	11	15	0	0	26	+13.0%

■R7年4~6月の根室管内は134億45百万円となり、前年同期比9.2%の増加。

各年(4~6月)	年別	
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R7	13,445	+9.2%
R6	12,304	▲12.1%
R5	14,002	+41.2%
R4	9,913	▲18.2%

■R7年1~6月の根室管内は、1件で金額は10百万円。前年同期から2件減少、負債額は11億17百万円減少した。

各年(1~6月)	年別推移 (金額単位：百万円)			
	【根室管内】		【うち、根室市】	
	件数	負債額	件数	負債額
R7	1	10	0	0
R6	3	1,127	1	842
R5	4	487	1	32
R4	0	0	0	0
R3	3	1,170	1	22

■R6年度の根室管内観光客入込数は前年同期比4.0%の増加の190万3千人だった。増加要因として、円安による外国人旅行者の増加等が考えられる。しかし、R6の根室管内の宿泊客数、宿泊客延数は、R5と比較し97.4%、97.1%とそれぞれ減少した。要因としては、インバウンドや長期滞在者の受入が困難な施設があることや、宿泊施設の絶対数が足りないことが考えられる。

	観光客入込客数(千人)	前年同期比
R7年1~3月	272	+3.3%
R6年10~12月	272	+1.9%
R6年7~9月	927	+5.5%
R6年4~6月	431	+2.3%

年度別	観光客入込客数(千人)	前年同期比
R6	1,903	+4.0%
R5	1,830	+40.2%
R4	1,305	+34.8%

## 釧路

■R7年4~6月は3着工数9戸、前年から90戸の大幅減少。  
建設コスト高騰等から、前年比で持家は24戸の減少、貸家は65戸の大幅な減少となった。

□釧路市住宅着工戸数

	月別		
	戸数(戸)	前年同期比(戸)	前年同期比
R7年4~6月計	39	▲90	▲69.7%
R7年 6月	11	▲73	▲86.9%
R7年 5月	16	▲6	▲27.2%
R7年 4月	12	▲11	▲47.8%
R7年 3月	36	+16	+80.0%
R7年 2月	12	▲14	▲53.8%

各年(4~6月)	月別・利用別					前年比
	持家	貸家	給与	分譲	合計	
R7	29	3	0	7	39	▲69.7%
R6	53	68	0	8	129	▲16.2%
R5	61	78	0	15	154	+0.6%

■R7年4~6月の釧路管内は、238億41百万円で前年同期比22.8%の減少。

各年(4~6月)	年別	
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R7	23,841	▲22.8%
R6	30,910	+63.2%
R5	18,937	▲10.5%
R4	21,169	+4.8%

■R7年1~6月の釧路管内は、11件で負債額は6億71百万円。前年同期と比較して2件増加、負債額は1億28百万円の減少となった。

各年(1~6月)	年別推移 (金額単位：百万円)			
	【釧路管内】		【うち、釧路市】	
	件数	負債額	件数	負債額
R7	11	671	10	656
R6	9	799	7	590
R5	4	448	2	72
R4	9	2,944	8	2,344
R3	6	360	4	270

■R6年度の釧路管内の観光客入込数は、719万人、前年同期比4.2%の増加。増加要因として円安や道内外の国際便の増加により、インバウンドがR1を上回る水準まで回復したことが考えられる。宿泊客延数は、R5と比較し104.1%と増加している。市町村別の観光客入込客数についても、一部を除き、インバウンド需要の高まり等を受け増加。

	観光客入込客数(千人)	前年同期比
R7年1~3月	1,412	+10.3%
R6年10~12月	1,470	+4.6%
R6年7~9月	2,615	+2.9%
R6年4~6月	1,692	+1.3%

年度別	観光客入込客数(千人)	前年同期比
R6	7,190	+4.2%
R5	6,895	+11.3%
R4	6,189	+32.3%